



令和5年12月22日

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」 に採択されました

情報提供

文部科学省の令和5年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」に、本学の提案「放射光による物質の見える化技術を核とした半導体・超物質及びバイオ領域融合型産業集積エコシステムの実現」が採択されました。同事業は、特定分野での強みや特色ある研究力を核とした経営戦略のもとで他大学などと連携し、研究活動の飛躍的な向上や国際化、社会実装の加速などを目的としています。今回、本学を含め全国で12大学が選ばれました。

広島大学では、国際的に卓越した研究における強みを生かし、世界的に稀少な紫外線（UV）領域の放射光によるさまざまな物質の可視化を通じて、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に研究力向上に取り組みます。また、人材、知財、資源（資金・情報）が、円滑に効果的に循環していく「人・知・資源の好循環」のハブとなり、国際的な頭脳や産業の集積を促進し、異分野が融合するエコシステムの形成を目指します。

本学の提案では、連携大学として神戸大学、参画機関として、東北大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、豊橋技術科学大学、高エネルギー加速器研究機構、アリゾナ州立大学（米国）および、パデュー大学（同）が参画します。

広島大学では、本学が有する研究力の強みや、広島および瀬戸内地域などの環境や資源などを活かし、参画する大学をはじめ、自治体や産業界などとも共創しながら、世界中の「知」を集め、学術領域の卓越性をさらに高めていきます。グローバルとローカルの両視点から、地球規模の課題解決、社会変革につながるイノベーション創出、地域産業の生産性向上および雇用創出といった内外の課題の解決をけん引していく国際展開型の地方創生モデルを構築し、展開していきます。

【越智学長コメント】

広島大学の強みのある研究力を基盤にした「President 5 Initiatives for Peace Sciences－新しい平和科学（安全・安心を実現する「創る平和」）－」を2023年5月に策定しました。今回、採択された事業では、5つのイニシアティブから2分野「半導体・超物質」「再生・細胞医療・創薬」を選択し、集中的に投資を行い、研究力の飛躍的な向上を図ります。

10年後の大学ビジョンの実現を目指し、本学の経営理念のもと、年齢・性別・役職・国・地域の壁を超えて、多様な人材が参画する仕組みを構築し、「総合知」

による連携・融合型のイノベーション・エコシステム「Hiroshima Research & Innovation Valley (Hi-RIV)」を形成します。地域に愛され、世界から選ばれる大学を目指します。地域から日本を元気にするための契機にしたいと思っています。



【お問い合わせ先】

広島大学広報室

E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

発行枚数: A4 版 2 枚 (本票含む)

